

平成 30 年度 第 2 回「検討の場」 議事概要

日時：2018 年 12 月 13 日（木） 13:50～15:00

場所：鹿児島森林管理署会議室

出席者：

【環境省】 小口課長・宮木課長補佐（九州地方環境事務所）、柘植首席自然保護官（屋久島自然保護官事務所）

【林野庁】 山崎計画課長、矢島保全課長・佐藤自然遺産保全調整官・下田企画官（九州森林管理局）、川畑署長（屋久島森林管理署）、古市所長（屋久島森林生態系保全センター）

【鹿児島県】 臼井技術専門員（自然保護課）

【屋久島町】 日高参事兼林務水産係長（農林水産課）

【受託者】 中村（日林協）

議題

1. 環境省事業の速報（高標高域の行動状況、ヤクシカ普及啓発パンフ案）
2. 保護地域内でのヤクシカ管理実施計画の骨子案・作成スケジュール等調整
3. 森林生態系管理目標の暫定案
4. 平成 30 年度第 1 回合同会議における意見等の整理（案）
5. その他

議事概要

1. 環境省事業の速報（高標高域の行動状況、ヤクシカ普及啓発パンフ案）
 - ・ 当初 3 頭の調査を計画していたが、高標高域での捕獲は困難で時間がかかったため、2 頭への GPS 装着となっている。
 - ・ GPS 装着個体は 2 頭とも雌で、1 頭は平石岩屋付近で 11 月 5 日、もう 1 頭は投石岳付近で 11 月 7 日に捕獲されている。
 - ・ 屋久島の自然環境・人とヤクシカの関わり、生息状況、増加理由、生態系・人への影響、対策等についての構成で冊子と簡易版のチラシを作る予定である。
 - ・ 掲載するにあたりデータ・写真が必要となるため環境省で所有していないものについては提供頂きたい（提供頂きたいものを下線で示している）。
 - ・ データの示し方によっては間違っ受けて止められる可能性もあるので注意する必要がある。
 - ・ シャープシューティングの 1 回目については 12 月 5～8 日で実施しており、皆様の協

力のおかげで事故なく終えることができた。

- ・ 6日は小楊枝林道 24 支線で実施し、2 頭に対して射撃を行い、1 頭捕獲している。7 日は安房の 63 支線で実施し、射撃も 0 頭であった。8 日は再び小楊枝林道 24 支線で実施し、8 頭射撃、8 頭捕獲で 100%の捕獲となっている。
- ・ 2 回目も同じ場所で 12 月 18 日～20 日にかけて実施する予定である。

2. 保護地域内でのヤクシカ管理実施計画の骨子案・作成スケジュール等調整

- ・ 本計画については、第 2 種特定鳥獣管理計画に示されている計画捕獲に関する実施計画、指定管理鳥獣捕獲等事業及び屋久島国立公園屋久島生態系維持回復事業の実施計画にあたるものと位置づけている。
- ・ 実施区域について具体的なエリアを示す必要があるため、今後つめていきたい。
- ・ 高標高域は捕獲していないのに減っている状況もあるため留意したい。
- ・ 実施計画については来年度策定できるとよいと考えている。
- ・ 指定管理鳥獣捕獲等事業の実施計画は、都道府県知事が策定するものとなっているため、国の機関が実施する場合には、都道府県知事の確認が必要である。
- ・ 森林生態系管理目標とのすりあわせも必要。

3. 森林生態系管理の目標の暫定案

- ・ 屋久島の森林生態系を特徴づけ、かつ顕著な影響が生じている植生について、その回復を目指す目標項目を設定する。
- ・ 目標達成の評価については、「屋久島世界自然遺産地域モニタリング計画」で実施している九州森林管理局事業や環境省事業の調査結果を活用して行う。
- ・ スケジュール等を示す必要がある。
- ・ 環境省の計画捕獲に関する実施計画とリンクしていく必要がある。

4. 平成 30 年度第 1 回合同会議における意見等の整理（案）

内容の確認依頼のみのため省略。

5. その他

- ・ 第 2 回のヤクシカ WG に関して、資料の提出については科学委員会の資料提出の期限と合わせて一緒にやっていきたい。
- ・ 小花之江河に植生保護柵を昨年 10 月張ったが、今年度 9 月に入って 3 件ヤクシカが保護柵に絡まった。原因として、①繁殖期に入ったため行動が荒くなったことと、②網目が 150mm と大きかったことの 2 点が考えられる。網目についてはヤクシカ WG の小泉委員との相談のもと 50mm のものに換えていきたい。